

文の組み立て①

1 主語・述語（主述）の関係 次の各文

の——線部から、主語と述語を一つずつ
選びなさい。

① ^ア彼こそが ^イまさに ^ウヒーローだ。

主語（ ） 述語（ ）

② ^アこの ^イ駅には ^ウ特急も ^エ止まる。

主語（ ） 述語（ ）

③ ^ア毎日 ^イよく ^ウ働くね、^エきみは。

主語（ ） 述語（ ）

④ ^ア風の ^イ音さえ ^ウ全く ^エ聞こえない。

主語（ ） 述語（ ）

完答6×4

2 修飾・被修飾の関係 次の各文の——

線部がかかる一文節を書き出しなさい。

① 小さな花が、ひっそりと庭の片隅に
咲いた。

② 毎日ジョギングをすれば、体力が向
上するだろう。

③ あのなつかしい小川は、埋め立てら
れてしまって、今はもう見られない。

5×4

④ たとえ彼が行かなくても、僕は富士
山に登る夢を決してあきらめない。

3 並立の関係 次の各文の——線部か

ら、並立の関係にある文節を二つずつ選
びなさい。

① ^ア彼は ^イ明るく ^ウ素直な ^エ少年だ。

() () () ()

完答6×3

② ^ア私は ^イ犬と ^ウ猫を ^エ飼って ^オいる。

() () () () ()

③ ^ア冬の ^イ海辺は ^ウ静かで ^エさびしい。

() () () () ()

4 補助の関係 へ例にならい、次の各文

中で補助の関係にある文節二つに、——
線を引きなさい。

へ例 森の 中で 虫が 鳴いている。

① 父が 手を 振ってくれた。

② 行き先が 書いて ある 紙を持つ。

完答5×2

5 接続語（接続の関係） 次の各文の

に合う接続語を、あとから一つずつ選
びなさい。

① そのスーパーは、家から遠い。

② 私は大急ぎで駅に向かった。

③ 私はスペインへ行きたい。

④ コーヒーを飲みますか。

5×4

⑤ ^アなぜなら ^イそれとも

^ウけれども ^エだから ^オさて

^カしかし ^キところが ^クゆえに ^ケゆえに

^コだから ^クゆえに ^ケゆえに ^コだから

6 独立語 次の各文から、独立語を一つ

ずつ書き出しなさい。

① うん、君の言うとおりだ。

② みなさん、私が司会の山本です。

4×2

2

文法

解答解説

文の組み立て①

解答

↓解説

1 ① 主語 ア

② 述語 ウ

③ 主語 ウ

④ 述語 エ

③ 主語 エ

④ 主語 イ

④ 述語 エ

③ 主語 エ

④ 述語 エ

2 ① 咲いた

② すれば

③ 小川は

④ 行かなくても

3 ① イ・ウ

② イ・ウ

③ ウ・エ

4 ① 振って くれた

② 書いて ある

5 ① ウ

② エ

③ ア

④ イ

6 ① うん

② みなさん

1 主語・述語（主述）の関係は、文の骨組みにあたる。

「何（だれ）が」にあたるのが主語。①のように「こそ」が入ったり、④のように「が」の代わりに「さえ」となったりする場合もあるので注意。

②「止まる」という述語の動作をするのは何かを考える。

③は語順が入れ替わって（倒置）、述語が先に来ている。

2 ①「ひっそりと」はどのように「咲いた」のかを、

②「毎日」はいつ「すれば」なのかを表している。

③「あの」は、「小川は」を修飾して、どの「小川」かを示している。

④「たとえ」は、被修飾語に必ず「……でも（でも）」という言葉がきて、仮定の意味を表す。

3 並立の関係とは、二つ以上の文節が対等に並ぶ関係という。

4 補助の関係は、下の文節がすぐ上の文節に補助的な意味を添える関係。①の「くれる」は、相手が自分に対して何かをするという意味を添える補助動詞。

5 □の前後の内容を見てそのつながりにふさわしい接続語を選ぶ。

①は逆接、②は順接、④は選択の接続語が入る。

③は前の文の理由をあとの文で説明している。

6 他の文節と直接のつながりがない文節を「独立語」という。①は応答、②は呼びかけ。感動したときの「ああ」や、「おはよう」というあいさつも独立語である。